

工 | 大 | 広 | 報

2017年4月4日発行(年4回発行)

No.285

Spring 2017

2017年4月3日発行

(年4回発行)



ご入学おめでとう
新入生の皆さんへのメッセージ
在学生によるキャンパス紹介

長町キャンパス 桜満開の下で友との語らい

ご入学おめでとうございます

学びは、すべての時と場にありますが

学長 こんの ひろし
今野 弘

本学のスローガン「創造から統合へー仙台からの発進」は、本学の建学の精神および理念を端的に表現したのですが、人生の目標としてもよいことばです。概略を説明しましょう。

「創造」は、社会に役立つ知識や理論を見出すこと、方法、技術、製品を造りだすこと、そして人材を育成することであり、「統合」とはそれらを社会や人類に役立てることを表わしています。それを仙台の地で学び、出発点としようということです。

「創造」を実践するため、勉学で大切なことは、まず日常の疑問や課題を発見すること、それを自分で納得するまで調べるという積極的な姿勢です。

「統合」という活動は、それを施す人間性に大きく関わるので、社会や人にやさしく対応できる感性を養うことが大切です。

本学では、一人ひとりにその能力を付加し、人格を成長させる環境、つまり教育研究プログラムの他、ご家族、地域をはじめ周りの方との協力体制、学生目線に立った施策、そして熱心な教職員など学びの環境を整えています。

学びは、学生時代の時間、身を置いている空間、すべての時と場にありますが。

この大学で、みなさんが活躍できる未来のステージへ導くことが、私たちの使命です。



工学部長

さあ、いまからはじまる 大学生生活

こばやし まさき
小林 正樹

電気電子工学科 教授



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、心より歓迎します。

本学は50年を超える歴史を地域とともに歩んできた、東北地方屈指の大学です。卒業生は東北のみならず全国あるいは、世界で活躍しています。皆さんもその先輩たちに続く若い力として、大いに期待されています。大学は、皆さんのこれからの人生の礎となる専門家としての力を身につける場です。いま社会はICTやAIに代表されるように、次々と新しい技術が生まれる急激な変化の中にあります。本学では、個性を伸ばし、変化に柔軟に対応できる力を養う教育を実践しています。そこで最も重要なことは、皆さんが自ら進んで取り組む積極的な姿勢です。与えられることを待つのではなく、あらゆることに貪欲に挑戦してみましょう。それは勉強だけではありません。今しかできないことを自分で見つけ、存分に打ち込んでみましょう。課外活動やボランティア活動、資格取得に取り組むこともいいでしょう。皆さんの明るく幸せな未来へ向けて、大学生という自由で贅沢な時間を有意義にそして楽しく過ごされることを希望します。

ライフデザイン学部長

多世代の人々との交流を通して 学ぼう

きくち りょうがく
菊地 良覚

安全安心生活デザイン学科 教授



新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

ライフデザイン学部の在學生はじめ教職員一同は、心より皆さまの入学を歓迎いたします。ライフデザイン学部は、開設から今年で節目の10年目を迎えますが、本学の工学の歴史を継承しつつも、文理融合を目指した教育方針を掲げ、社会に役立つ卒業生をこれまで輩出してきました。これからは新入生の皆さまにとっても、将来のライフデザインをどう描くかが最大の課題となりますが、何かを探るための一歩踏み込む姿勢が強く求められることは確かです。そのためには、地域や多世代の人々との交流を通して、課題の発見や解決を通して他者や地域の暮らしを豊かにできる提案が、結果的には皆さまの人間力を高めることにつながります。日々の皆さまの暮らしをみつめつつ、積極的に「よく遊び・よく学ぶこと」を期待いたします。

工学部



未来の自分を築こう

まるやま つぎと
丸山 次人 教授

ご入学おめでとうございます。

本学科は、29年度より電気電子工学科に生まれ変わります。皆さんはその第一期生となります。東日本大震災以降、重視されるようになったエネルギーを支える「電気工学」と、あらゆるものにマイコンが組み込まれ、それを支える「電子工学」とが、時代のニーズに合わせてどちらも学べる点が特徴です。

新学科が皆さんにとって魅力的な学科となるように、3つの専門分野・資格試験支援講座・創造ラボなどを用意し、一人ひとりの個性に合わせた教育に努めております。大学は、「自ら学び・自ら考え・自ら挑む」場です。若い皆さんは無限の可能性を持っています。目標を持っていろいろなことを学び・考え・挑んで未来の自分を築いてください。元気で楽しい学生生活を送り、4年後、皆さんが電気電子工学技術者として社会に巣立つことを楽しみにしております。



学外オリエンテーション（グループワーク）



卒業研修ポスター発表

工学部



現代社会を支える情報通信技術

むらおか かずのぶ
村岡 一信 教授

ご入学おめでとうございます。情報通信工学科は、本学開学と同時に設置された伝統ある学科（当時は通信工学科）です。平成29年3月に第50回目の卒業生を輩出し、これまで6千人を超える卒業生が、東北地方を中心にさまざまな企業や官庁、教育機関で活躍しています。この伝統ある学科の一員となられた皆さんを、学科を代表して歓迎いたします。皆さんは大変賢明な選択をしました。なぜなら、現代はスマートフォン、コンピュータやタブレットなどの情報端末、インターネットや光通信・衛星回線などの情報通信網で支えられた社会であり、それを維持・管理・発展させるため、情報通信技術者が必要不可欠な人材として益々期待されているからです。実際、本学科の就職率は毎年ほぼ100%を誇っています。これからの4年間、現代社会を支える有能な技術者を目指し、頑張ってください。



卒業研修ポスター発表会

工学部



人とつながることを大切に

いしい さとし
石井 敏 教授

ご入学おめでとうございます。建築学科51年目となる本年（2017年）も、多くの新生を迎えることができ大変うれしく思います。これまで建築学科では学生と教職員、そして卒業生とのつながりを大切に歩いてきました。皆さんの周りには、厳しくも親身になって、最新の建築学の知識と技術を教えてくれる教員がいます。同じ夢を持ち一緒に入学した多くの仲間がいます。自分たちが経験してきたことを優しく、丁寧に教え、導いてくれる先輩がいます。そして本学科で学び、建築の仕事をする事の喜び、自信と誇りを与えてくださる多くの卒業生がいます。ぜひこれらのつながりを大切にしてください。大学生活では苦労すること、思い悩むこともあるでしょう。でも心配いりません。このつながりの輪の中にいれば大丈夫です。人とのつながりの中にいる自分、人とのつながりの上に成り立つ建築という学問を実感してください。



50周年を祝っての建築学科全員での記念撮影（2016年10月）

建築学科



学科創設50周年を迎える年に入学する皆さんへ

なかやま まさと
中山 正与 教授

ご入学おめでとうございます。本学科は、昭和42年に創設された土木工学科を母体としており、平成29年で50周年を迎えることとなりました。これまでに6,700名ほどの卒業生を輩出しており、東北地方を中心に全国の土木関連の職場で活躍しています。本学科では、インフラの計画、建設そして維持管理を行うことにより、国を造り、国を支えるための土木技術を学ぶことができます。また、日本は災害の多い国でもあることから防災、減災、災害復旧に貢献できる分野でもあり、東日本大震災の際にもこの分野の重要性が再認識されたところ です。日本では土木技術者が大変不足しています。社会で十分に活躍できる土木技術者となるよう大学でしっかりと学んでください。

我々教職員は、皆さんを強力にサポートします。50周年の年に入学された皆さんが新たな歴史を刻めるよう一緒に頑張りましょう。



オープンキャンパスでのミニ授業



再生可能エネルギーで東北を元気に

まるお やすこ
丸尾 容子 教授

ご入学おめでとうございます。環境エネルギー学科は、設立して6年目の比較的新しい学科です。この春また新しい仲間を迎えることができ、教職員一同大変嬉しく思っています。人間はエネルギーを使わなくては日々の生活が成り立ちませんが、昨今の自然災害や気象変動を考えると、エネルギーを得る方法もこれまでとは異なった発想や技術が必要であることを、特に東日本大震災で被災した東北の皆さんは身にしみていると思います。環境エネルギー学科では、皆さんが再生可能エネルギーをキーワードに、エネルギー・エコロジー関連の基礎工学分野で技術者として活躍することができるための基礎学問から専門知識・専門技術を学ぶことができます。積極的に、能動的に、自分の頭を使い、自己を確立しながら新しい発想の社会をともに築いて行きましょう。



1年生学外研修での干涸の環境保全の見学



デザインの力を育む

さかて ゆうじ
坂手 勇次 教授

ご入学おめでとうございます。クリエイティブデザイン学科は、2008年発足以来、今年で10年目、その前身である工業意匠学科が開設した1967年から数えると、ちょうど創立50年の節目になります。その長い歴史と伝統を受け継ぎ、今年もまた新たに多くの新入生を迎えることができたことを大変嬉しく思います。デザインの語源はラテン語で「計画を記号に表す」という意味の「de+sign」だと言われています。つまり、デザインとは、ある問題を解決するために思考の組み立てを行い、それを表現し伝えること。それは、色や形のデザインに留まらない本質的なデザインの力です。本学科では、幅広い領域の知識と高い専門の能力を学ぶことで、デザインの力を活かして社会に貢献できる真の意味でのクリエイターを養成します。皆さんの熱意に期待します。ともに頑張りましょう。



2016年度新入生オリエンテーション



生活者と技術者の両方の視点で考えましょう

こやま ゆうじ
小山 祐司 教授

ご入学おめでとうございます。本学科は、ライフデザイン学部の学科として生まれ変わって10年目になります。前身のデザイン工学科は工学部に所属し、50年前の開設当初は工業意匠学科と称しておりました。ライフデザイン学部の安全安心生活デザイン学科として新たに発足した理由は、技術者としての「私」だけではなく、生活者としての「私」を意識しての学びに導き、社会に貢献できる人材を育成するためです。生活の場として、「住まい」だけではなく「地域」のことも含めて考え、「健常者」だけでなく「社会的弱者」の視点に立った、より良い暮らしづくりを目指す学科です。それには、自ら体験し、観察し、気付くことが大切です。学科教職員は、精一杯、応援いたします。諸君が本学科で種々の体験をし、多くの失敗を乗り越えて学び、成長していくことを期待しています。



障害者マラソン イベントのサポート活動



障害者との石巻まちあるきワークショップ



海岸段丘の中腹から街を見下ろす神社景観（青森県鯉ヶ沢町の町並み景観の調査）



幅広く学ぶ

かない たつろう
金井 辰郎 教授

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。経営コミュニケーション学科は本学唯一の文系学科として、経営学、コミュニケーション学を中心に、経済学、会計学、心理学、ICT、映像制作といった、人間と社会に関する多くの学問分野を横断的に学ぶことができるユニークな学科です。学科名からは、なんとなくお金儲けのことを勉強するイメージがあるかもしれませんが、(残念ながら)本学科で学ぶどの学問も、人を出し抜いて自分一人がお金持ちになるなどということには興味がありません。そうではなく、人間と社会のあり方を考えながら、自分を含む〈社会全体〉を幸福にするにはどうすればよいかを考える、利他的で、人間中心の学問が〈経営コミュニケーション学〉です。大学の4年間は長いようで短いものです。あらゆることに挑戦し、自分の幅を広げていただくことを希望します。



大学祭では USTREAM を配信しました



日々の学習をいつも応援します

うめだ けんたろう
梅田 健太郎 教授

大きな期待と将来への希望を持たれて入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。共通教育センターは、大学に入学して間もない皆さんが楽しく学び、専門課程に向けて大きく成長することを日々応援します。

皆さんは、社会で遭遇するさまざまな問題・課題を自ら考えて解決するための能力を身につけることが求められています。共通教育センターは入学初年次・2年次に、社会から要請されている幅広い素養を身につけるための「教養教育」、また、入学した学科の高度な専門科目にスムーズに結びつくための「基礎専門教育」を担当します。毎日の授業の疑問や質問にいつでも対応します。センター教員が指導する「課外活動」や資格取得講座も用意しています。

皆さんの夢や目標の実現に向け、主体性を持ったすばらしい大学生活を送ってください。



物理実験授業での成果報告会

研究室で学んだこと

工学部

知能エレクトロニクス学科*

柴田憲治研究室

新しい原理で動く電子デバイスの開発

 しばた けんじ
柴田 憲治 准教授

 あべ ちなつ
阿部 千夏


柴田 電子デバイスの中でも、既存の原理ではない、新しい原理で動くトランジスタというものを作れないかということで、1個とか2個という原子でつながっているような、基本となるデバイスを作って、それがどのように動くのかを阿部さんに調べてもらったわけですが、研究してみてどうでしたか。

阿部 「イオン液体を用いた金属ナノ構造の微細化とその電界変調」というのが卒業研修のテーマで、論文も無事、まとめ終わるところまでできました。最初は分からないことがあるとすぐに柴田先生に聞いてしまっ



研究対象は肉眼では見えない「ナノ」の世界

って、柴田先生には「自分で考えてから質問なさい」と注意されました。

柴田 自分で考えることをしないで教えてもらったら勉強にならないので。

できるところまで調べれば、印象に残って記憶にも残るかなと。

阿部 社会人になっても、自分で考えることは大切だと思うので、先生に指摘していただいて良かったです。柴田先生は私たちの進路を一番考えてくださって、エントリーシートや履歴書を記入するのに、一人ひとり全員に細かくアドバイスをしてくださいました。感謝しています。

柴田 阿部さんは積極的に行動するタイプの人なので、研究をやりながら写真部の部長を務めたりしているでしょう。これから、ますます女性が活躍する世の中になっていくと思うので、その模範になるような新しいことをやってください。今回、阿部さんが行った研究のように、常識を覆してほしいです。

阿部 研究室で学んだことは、基本の知識として仕事にも活かしていけるとお思いますので、柴田先生からいただいたたくさんの教を胸にがんばります。

※平成29年4月より、電気電子工学科に名称変更

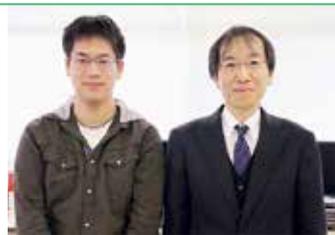
工学部

情報通信工学科

河野公一研究室

3次元ヒストグラムを使った「電子透かし」の研究

 かわの こういち
河野 公一 准教授

 あおやま ひろし
青山 皓


河野 衛星画像を使った画像処理を行うこの研究室のどこにに興味を持ったのですか。

青山 3年生で行われる研究室配属の前に、各研究室を訪問する機会があったのですが、そのときに衛星画像を用いた研究だけでなく、衛星画像の処理技術の一つの手法である3次元ヒストグラムを使って作られる「電子透かし」の研究を行っていることを知って興味を持ちました。

河野 普通のデジカメで撮ったような画像に、衛星画像の処理技術を応用して、その画像の中に「電子透かし」と呼ばれる著作権者の情報を埋め込む技術の研究ですね。画像の著作権を守るのに必要とされる技術です。

青山 河野先生の研究室を訪問するまで、全く知らなかったんです。その分、新しく学ぶことが多くて、とても楽しい研究でした。苦労したのは、著作権者の情報を埋め込みながら、さまざまな検証も行うのですが、それに時間がかかってしまったことです。それを一気に解決してくれるソフトを先生と一緒に作ってください、本当に助かりました。ありがたかったです。

河野 ものづくりの先生方も、必要に応じて道具を作っていると思うのですが、それと同じで、プログラムの方でもちょっとしたものは道具としてつくれるんだということが分かったと思います。とにかく学生諸君がなるべく良い環境で研究が進められるようにしたいと、いつも思っています。

青山 自分で考えて簡単なソフトなら自作できるようになりました。

河野 たくさん「助け舟」も出したような気がします(笑)。

青山 何回もその「助け舟」に乗せていただきました。ありがとうございました。



研究の大半はパソコンの前で格闘します

まちの今を知り、次のまちづくりにつなげる研究

ふ わ まさひと
不破 正仁 講師

き さ き な な み つるみや り え
佐々木 七波 (左) / 鶴宮 梨恵 (中央)



不破 二人はこの研究室の1期生ということになりますが、まず、この研究室を選んでくれてありがとう。今日まで「まちづくり」をテーマに、地域固有のものに光を当てて、次のまちづくり活かすという研究を進めてきました。そのために、ゼミ旅行とか合宿というかたちで、まち歩きを多く行いましたね。

佐々木 出かける前に目的のまちのことを調べて旅のしおりのような資料集を作ったのですが、最初は難しそうだと思っけても、やってみたら意外とうまくできて自信になりました。とりあえず「やってみる」という姿勢が身についたと思います。

不破 「まず、やってみる」の精神はすごく大切です。冊子の最終的な編集で一番がんばってくれたのが、鶴宮さんでしたね。

鶴宮 みんなが先に情報をまとめてくれたので、一人ひとりの狙いが、より伝わるような編集を心がけました。卒業研修では、1回目のゼミ旅行で行った村田町を対象として「芽吹く町」というタイトルをつけて、まちがもつ宝物のような文化や歴史、伝統的建造物などの価値やおもしろさに気づいてもらうしかけを考えました。

佐々木 私は「若年世代の住宅の選定手順とまちの選定基準に関する研究～宮城県仙台市在住者を対象として」というタイトルでさまざまな調査を行いました。

不破 まちづくりには何が必要かということ、まず調査をして報告をまとめることだと思うのです。ここは「いまを知るための調査を行う研究室」なので、そのための手法を学んでくれたらうれしいですし、佐々木さんは大学院に進学するので、これからは同じ研究者として切磋琢磨していきましょう。就職する鶴宮さんとは、産学連携のようなコラボレーションをするのが理想です。そのためには私もがんばらないといけないですね。



原稿作成、デザインもすべてゼミ生で作成した資料

正確なデータが都市マネジメントの基本

たかはし としひこ
高橋 敏彦 教授

おの ともき
小野 智樹



高橋 そもそも私の研究室を選んだのは、釣りが好きということからはじまっているんですね。

小野 幼い頃から釣りをしていたこともあって、海が好きなんです。海岸利用だったり、海岸堤防の建設などに必要な波の特性の研究をしている研究室ということで入れていただきました。

高橋 「好きだから」という動機はうれしいですね。ところで実際に小野さんが行った研究は、海岸工学の中の波の打ち上げ高さに関するものですが、やってみてどうでしたか。



研究室には頼れる大学院生の姿も

小野 この研究室には波を起こすことができる実験装置があって、そこでみんなで協力して研究データをとったのですが、実験に使う機器の操作に慣れるまでは大変

でした。でも、それがだんだん分かってきて、同時に興味も湧いてきて、とても充実した時間だったと思います。

高橋 3人でチームを組んでの実験でしたが、小野さんはリーダーシップを持ってやってくれましたよね。実験というのは、少しでも測定の方法を間違えると、全く役に立たないデータになってしまうのですが、小野さんには安心して任せられました。

小野 うれしいです。みんなで、それぞれが足りないところを補い合って、効率よく研究ができたと思います。

高橋 この研究室が所属するのは、土木学会になるのですが、土木はそれぞれの専門家たちが協力しないとできない仕事なんです。その大切さを実験でも学んだわけですね。小野さんは卒業後、公務員としてまちづくりに関わっていくわけだけれど、実験や調査を行うやり方は土木に共通することなので、自信を持って社会で役立ててください。

小野 入学前から持っていた夢をかなえたいと思います。

工学部	環境エネルギー学科	佐野哲也研究室	
<h2>未利用木材を使った舗装材の可能性を追究</h2>			
さの てつや 佐野 哲也 准教授		はなおか ゆうや 花岡 勇弥 (左) / さとう みつひろ 佐藤 光弘 (右)	

佐野 この研究室のテーマは二つあって、森林の植物の成長や土壌の様子を野外に行き調べる。もう一つは緑地から出てくる資源ということで、木材の利用について研究しているのですが、二人は後者をテーマにしたんですね。

花岡 間伐材のように未利用木材を、舗装材の材料として使おうという研究でした。

佐藤 木材や石砂、アスファルトの配合比率を微妙に変えながら、強度がどう変化するかを調べたのですが、予測したような



力を合わせて挑んだ木質舗装材の製造技術開発

変化が起こらず、特に最初は苦労しました。

花岡 佐野先生には、「よく考えて、しっかり丁寧にやりなさい」と、何度も注意されたことが印象に残っています。

ます。

佐野 地道であり、厳密な正確さが求められる実験でしたから。

佐藤 私はこのゼミで学んだことで、もっと勉強が楽しくなり、大学院に進学を決めました。木材で地域の活性化ができないかという点に興味を持つようになったんです。

佐野 花岡さんは最初、リサイクルに興味を持っていたんですね。

花岡 そうなんです。今回取り上げた研究テーマは、もともと捨てられていたものを再利用しているので、リサイクルに共通するものがありました。内定をいただいた会社では土木資材も作っているのですが、材料に未利用木材を使うこともあるので、つながりがあると思います。

佐藤 佐野先生の研究室で学んで、将来やりたいことに出会えたので、本当に良かったです。

佐野 しっかり勉強して、林業の担い手になり、故郷の活性化につなげてください。

ライフデザイン学部	クリエイティブデザイン学科	原田一研究室	
<h2>失敗することで、強くなれることを学んでほしい</h2>			
はらだ はじめ 原田 一 教授		ふじわら ちか 藤原 千佳 (左) / みなみ ひろき 南 大輝 (右)	

原田 最近はエルゴノミクスとも言われる、人間工学的な研究を行ってきたわけですが、単に使いやすいか、便利というだけでなく、人間が本来備えている潜在能力を引き出すモノ作りという点が、この研究室の特徴でもあったので、二人はどんな点で苦労しましたか。

南 子どもたちにゴルフの楽しさを体感してもらって、好きになってもらえるような玩具として、木のゴルフクラブを作りました。もちろん、素材から形状、手触りに至るまで考え抜きましたが、意外にも遊ぶためのルール作りに苦戦しました。この研究室では楽しいだけでなく、「潜在能力を高めるモノ作り」をすることが大切なので。

藤原 高さを変えられるフレキシブルデスクの提案を行ったのですが、机と収納をテーマに、いろいろな人のニーズを調査したり、実際に使ってみての感想を聞いたりして、我ながらしっかりしたものを作ったと思います。でも可動箇所の作りの甘さが反省として残りました。

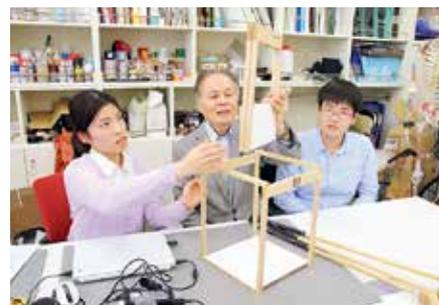
原田 失敗を恐れないで、何回でもやり直していいんですよ。失

敗しないと学べないこともあります。

南 原田先生はいつも、そうやって私たちのやる気を引き出してくださいました。ありがとうございます。

藤原 改良する度に「次こそは思い描いたものを完成させよう」と、気合いが入りました。失敗が成功への原動力になったと思います。

原田 社会人になったら、こうはいきませんが、失敗することによって強くなれることを学んでくれていたら、うれしいです。



改良を重ねることで、人も強くなれる研究室

見え隠れする社会問題に、社会心理学でアプローチ

なかい しゅうさく
中井 周作 講師はやさか しゅうき
早坂 舟希

中井 いろいろな社会問題を社会心理学でひもといていきます。社会心理学とは集団の心理学ですね、個人ではなくて。それで隠れている社会問題を明らかにするとか、明らかになっている社会問題を解決するためのアプローチを探すということを早坂さんも行ったわけですが、おもしろい結果が出ましたね。

早坂 学生の座席選択を分析して、成績や性格からどんな傾向があるのか、その関係性を明らかにしようと試みました。自分が考えたり調べたりした範囲の中では、思った通りの結果だったり、予測を超えた結果が待っていたり、大変、興味深かったです。

中井 僕の基本的方針としては、学生が興味を持ったことをテーマにしてあげたいなどは考えているのですが、興味があるだけではダメで、社会問題が隠れていないと研究テーマとして認めません。だから3年生の後期は、テーマ探しの半年でしたね。

早坂 悩んだ分だけ、そのテーマに真剣に取り組めました。それに、中井先生から「もっと自分を出して積極的にやっつけていいよ」と言われて、その気になって行動したら、少し前に出られるよう

になりました。

中井 あとは、もっと楽しんでほしいですね、何をやるにしても。

早坂 研究室でのメリハリも半端なかったですね。思い切り遊ぶと、勉強にもものすごい集中力が発揮できることを知りました。

中井 それは、この研究室の方針でもありますからね。後輩の3年生が早坂さんの研究を引き継ぐことになったので、社会人になっても様子を見にきてください。

早坂 はい。ぜひとも。



研究に欠かせない座右の書「心理測定尺度集」

理路整然と考え、正しく伝えることを学ぶ

なりかわ まさてる
成川 正晃 教授ささき しょうご
佐々木 翔吾 (右) / さとう りゅうのすけ
佐藤 龍之介 (左)

成川 この研究室では企業研究と会計理論、この二つを軸にしていますが、二人は会計理論に関する研究ですね。

佐々木 「リース」という取り引きを取り上げて、その中で会計のルールが変わるといところで着目して、変わる前と後で比較をして、自分なりに結論づけました。

佐藤 企業の棚卸資産に絡んだ不正に着目して、企業側が不正を抑制したり、牽制したりする方法を提言としてまとめました。

成川 研究の終着点として「提言」をしたわけですが、私が最も



成川ゼミ生必携の書

力を入れたのは実はそこではなくて、皆さんが卒業研修を通して、論理的に物事を考え、伝えることができる。その力を養ってほしいと思って取り組んでいるんです。

佐々木 卒業論文もそうですが、就職活動でも私たちは成川先生にぜひ助けていただきました。

佐藤 ゼミ生は成川先生をリスペクトしているので、どんな言葉をかけられても心に染みるんです。

成川 何かあげられるものはないかな(笑)。

佐藤 でも一番、私たちの心に浸透したのは、いろいろな個性の人がいて、それを認めることからはじめようという考え方です。

佐々木 私も「その通りだな」と思うようになりました。

成川 多様性を受容するのは、インテリジェンスの一つだと、私は思っているんです。だから、理論展開も私の考えと違ってもいいんです。ただ理路整然としているかどうか、また「こういう考えもあるよね」とか、「これについてはこう思う」と言えるように、考える力を養ってほしいと思っています。だから、皆さんの意見を聞くことは、私自身にとっても勉強になるんです。



CAMPUS INFORMATION



[1号館] totech LOUNGE



[1号館] 学生サポートオフィス

友だちと語り合う場所や
キャンパスライフを
サポートしてくれる
施設を紹介します。

新入生の皆さんも、
おいに利用しましょう。
ここで紹介した以外にも、
楽しめる場所もたくさんありますので、
私たち学生に聞いてください。



[1号館] 保健室

さわい りょう
澤井 涼さん
建築学科 3年

くどう さくらさん
建築学科 3年



[4号館] 学生食堂



[4号館] ユニバル売店



[10号館] totech FORUM



[5号館] 女子学生ラウンジ



[中庭]



[附属図書館 本館]



[史料センター]



[クラブ棟]



東北工業大学には、八木山と長町の2か所にキャンパスがあります。いずれのキャンパスにも、緑豊かな敷地の中に、学生の皆さんの快適なキャンパスライフをサポートする各種施設があります。このページでは、キャンパスを4名の先輩が紹介します。

新入生の皆さんも、自分だけのお気に入りの場所を探してみませんか。

はらた いっせい
原田 忞成さん
安全安心生活デザイン学科 3年

私たちのお気に入りのスポットを紹介します。見晴らしの良い場所などの癒しの空間もあります。

ほづみ かずや
穂積 一也さん
安全安心生活デザイン学科 3年



[1号館] 作品展示スペース



[1号館] 撮影スタジオ



[3号館] 大学生協



[3号館] 附属図書館 分館



[4号館] ウェルネスセンターカウンセリングルーム



長町
キャンパス



[4号館] 長町キャンパス事務室



[4号館] 学生ラウンジ



[陶芸工房]



[学生ホール] 学生食堂



[ヤギ小屋]



平成28年度課外活動優秀者表彰

平成28年度の課外活動において目覚ましい活躍をし、優秀な成績を挙げた団体と学生個人の栄誉を讃える表彰式が、2月17日（金）八木山キャンパスで行われました。

受賞者には今野弘学長より表彰状の授与ならびに記念品が贈呈され、その後に開催された懇親会では、学長はじめ諸先生方と懇談を行いました。

表彰された団体・学生個人のさらなる活躍が期待されます。

（学年は受賞時）



[団体]

クラブ名	大会名または活動内容	成績など
弓道部	第46回東北地区秋季女子学生弓道大会	団体第1位 入替戦勝利、3部リーグ昇格
サッカー部	・第31回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦 ・第41回東北地区大学サッカーリーグ 2部リーグBブロック	・勝利 (※H28年度定期戦本学唯一の勝利) ・リーグ戦 5位 (※昨年度成績10位/10チーム中)
チアリーダー部	地下鉄東西線開通イベント、アメリカンフットボール応援、89ersコラボパフォーマンス、仙台六大学野球リーグ戦応援、新入生アトラクション、第1回オープンキャンパス、第2回オープンキャンパス、西勝山お祭りイベント、第31回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦、建築学科50周年記念式典、大学祭、東北工業大学同窓会、八木山フェスタ、電子工学科・通信工学科のつどい、89ers合同練習	地域活動や学外イベント、学科記念行事等へ積極的に参加し、本学の知名度向上に貢献した。
バレーボール部	第48回東北バレーボール大学男女南リーグ戦（男子）	優勝 入替戦勝利、3部リーグ昇格
電子技術研究会	第46回6m AND DOWN コンテスト	電話部門マルチオポオールバンド東北地区1位
大学祭実行委員会	第2回運動祭、スポーツ大会、第41回工大祭開催 (総来場者数4,249名)	チケット制でのコンサート企画の実施や他大学との連携による企画・宣伝で、昨年比約1.7倍の来場者数を記録した。

[個人]

※平成29年4月より、電気電子工学科に名称変更

氏名 (学科・学年)	大会名または活動内容	成績など
三浦 健太(建築学科4年)	第41回東北学生アメリカンフットボールリーグ戦 2部リーグ	最優秀ディフェンスライン賞
武田 雄大(建築学科1年)	第56回東北地区秋季学生弓道大会 4部リーグ戦	個人戦 第1位
伊藤 胡桃(クリエイティブデザイン学科2年)	第12回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会	第3位
及川 大輔(知能エレクトロニクス学科3年)※	平成28年度 東北地区大学準硬式野球秋季リーグ戦 2部リーグ	首位打者賞
渡邊 太斗(安全安心生活デザイン学科2年)		ベストナイン (二塁手)
渡辺 慎吾(知能エレクトロニクス学科3年)※	第69回宮城県民体育大会2016 少林寺拳法演武大会	大学男子2段以上の部 第1位
泉館 智弘(知能エレクトロニクス学科2年)※	第69回宮城県民体育大会2016 少林寺拳法演武大会	大学男子級・初段の部 第3位
小田島裕輔(知能エレクトロニクス学科2年)※	第49回少林寺拳法東北学生大会	男子茶番組演武の部 第2位
深澤 拓末(情報通信工学科2年)		
田原 成起(情報通信工学科1年)	第31回全国スポーツ祭典兼第54回宮城県スポーツ祭典水泳大会	男子50m背泳ぎ 第1位 (大会新記録) 他
鈴木 楓由(建築学科1年)	第28回宮城学生ソフトテニス選手権大会	女子の部 第3位
外崎龍之介(知能エレクトロニクス学科4年)※	第71回国体ハンドボール競技 山形県代表選出	東北地区予選出場
大森 健広(都市マネジメント学科2年)	建設技術展2016近畿	学生部門 審査委員特別賞
清水 康貴(安全安心生活デザイン学科2年)	自主的学内清掃活動 (週3回程度)	昨年度より継続実施



団体の部

バレーボール部



感謝と成長

このい だいすけ
五ノ井 大輔
建築学科 2年

部になりたての私たちが、このような賞を受賞できたことを大変光栄に思います。同時に支えてくれた全ての人に感謝しております。

28年度から東北大学バレーボール連盟に加入し、部員の活躍できる場が増え、充実した1年を過ごすことができました。リーグ戦は甘いものではありませんでしたが、チームワークと弛みない努力で乗り越え、3部に昇格できました。大学内での認知度が低いため、多くの人が「バレー部ってスゴイ」と思ってくれる、いや、思わせるような活躍を見せたいと思っています。ぜひ迫力あるプレーを体感しに、長町キャンパス体育館へお越しください。カッコいい部員たちがカッコいいプレーでお出迎えます。



電子技術研究会



文化を絶やさぬために

きむら たくみ
木村 拓徑
情報通信工学科 3年

この度は、このように表彰いただきまして大変光栄に思います。

28年度、新たに無線中継機の実験や移動運用を初めとした幅広い活動を行いました。昨今の移動体通信やIoT※技術の著しい発展と共に、アマチュア無線の存在意義を否定されることも度々ありますが、元来は老若男女問わず会話を楽しむ手段として、また無線技術の発展に大きく寄与してきました。

これからもアマチュア無線の魅力の後世まで伝えるべく活動していきたいと思っております。

※IoT;Internet of Things (モノのインターネット)



個人の部

ソフトテニス部



感謝を忘れずに

すずき ふゆ
鈴木 楓由
建築学科 1年

この度はこのような賞に選出いただき、誠にありがとうございました。大変光栄に思っております。また、日頃ご指導いただいております顧問の鈴木博司先生、コーチの中島千恵子先生をはじめとする先生方、支えてくださった方にこの場を借りて感謝申し上げます。

29年度は、さらに良い成績を残せるよう精進いたします。また、個人だけでなく、部としても充実した活動をしていきたいと思っております。

今後ともソフトテニス部へのご声援の程、よろしくお願いたします。



少林寺拳法部



継続と仲間への感謝

わたなべ しんご
渡辺 慎吾
知能エレクトロニクス学科※ 3年
※平成29年4月より、電気電子工学科に名称変更

この度、課外活動優秀者に選ばれたこと、とても光栄に思います。

私は少林寺拳法を続けて13年になりますが、大学に入学してから今日までの3年は、自分を大きく成長させることができました。

この3年間で先輩や後輩、他大学の仲間と練習を重ねた結果、県大会で優勝することができました。

ご指導いただきました先生方、ともに大会や練習を続けた部活の仲間には、大変感謝しています。本当にありがとうございました。これからも少林寺拳法を通じて、心身共に成長していきたいと思っております。



外務省主催 JICE KAKEHASHI Project

（アメリカ・テキサス州ヒューストン派遣）報告No.1



まとう あすか
佐藤 飛鳥 派遣団团长 国際交流委員会幹事会幹事 経営コミュニケーション学科 准教授

8学科+1研究科から23名の学生と2名の引率教員（共通教育センタークック講師と私）の25名が、2016年11月末から8日間、派遣されました。1か月ほどの準備期間中に、学生は日本の外交姿勢を学んだ上で、震災時の個人体験、祭り文化や折り紙、大学での学びなどの英語プレゼンテーションと、書道、「ふるさと」の四声合唱、ようかい体操、盆踊りを準備し、日本文化の素晴らしさを伝えに渡米しました。言語、生活、歴史文化、習慣、マナー、思考法や価値観の違い、建築物や圧倒的なスケール感の違いを目の当たりにしながらアメリカらしさを理解し、見るもの全てを驚きとともに吸収し、現地で同年代の友人も増やして両国の架け橋として大きく成長し無事帰国しました。



訪問校の1つUniversity St. Thomas Houstonの正門前、KAKEHASHI Projectの旗とともに



□グループ1
リーダー：やくち たくま
矢口 琢磨 経営コミュニケーション学科 3年

メンバー：
環境情報工学専攻 **杉浦 大和** **E 岩佐 瑛偉**、
SD **渋谷 昂平** MC **三坂 勇登**、**水野 泰介**

私たちはヒューストン設立の経緯やダイバーシティについて日本領事館の方にご説明いただき、事前学習の知識に加え一層関心が高まった状態で研修がはじまりました。NASA、NBA観戦など研修は多岐にわたりましたが、特にグループ1全員が印象深く感じたのが、黒人迫害問題の理解のために残されているアフリカンアメリカンスクールでした。町全体を残すことで、目に見える形で迫害されていた事実を後世に残すという意味が尊重された結果であることを聞き、私たちはアメリカに今も残り、残されている人種差別とその歴史を再認識しました。



□グループ2
リーダー：しもこうべ しんたろう
下河辺 真太郎 経営コミュニケーション学科 4年

メンバー：
E **薄井 晶子**、**野地 修平** C **角力山 柁**、**永沼 宏太**

私はさまざまな人と交流する力がついたと感じました。ヒューストンの高校と大学を訪問し、現地学生と書道体験を行ったり、盆踊りを一緒に踊ったりして非常に楽しんでもらえました。また、日本から持って行ったお土産も喜んでくれ、現地の学生と親しくなることで、一緒に昼食を食べたりフェイスブックを交換したりしました。人と交流するためには、自分から動いてコミュニケーションをとることが大事だと改めて気付き積極的に行動した結果、ヒューストンの大学生の学生生活や余暇の過ごし方などを会話を通して知ることができ、充実した滞在生活を送ることができました。



□グループ3
リーダー：おおたけ つかさ
大竹 司真 都市マネジメント学科 3年

メンバー：
T **設楽 浩祐** A **澤田 充**
CD **佐藤 美穂**、**鈴木 望** SD **阿部 遥**

私たちグループ3は、今回のアメリカ派遣事業でさまざまな体験、経験をし、それぞれが以下のような感想を持ちました。

- ・日本とアメリカの文化の違いを肌で感じた。
- ・習字や盆踊りのパフォーマンスを楽しんでもらえてよかった。
- ・日本とは違うアメリカの文化や歴史を感じ学ぶことができた。
- ・現地の方と交流でき日常的な英語に触れることができた。
- ・全てが未知だったアメリカへの訪問は貴重な経験となった。

以上のような体験を基に私たちは、本学の学生を中心にヒューストンならびにアメリカの良さを伝えていきます。実際に見て肌で感じたアメリカは、刺激的で興奮するものばかりでしたが、さらにテキサスの同年代の人にも日本の若者文化を発信していきたいと思えます。



□グループ4
リーダー：ねもと きょうすけ
根元 亨輔 経営コミュニケーション学科 4年

メンバー：
E **小林 由佳** T **白鳥 岳** A **佐々木 七波**
SD **吉川 采花**、**結城 梨奈**

プロジェクトに参加して「大人しいアメリカ人も多くいること」を知りました。渡米前は、アメリカ人は皆オープンで、何事にも積極的だと考えていましたが、現地の学生と書道をした際、恥ずかしがったり、声を掛けないと参加しなかったりする人もおり驚きました。こうしたイメージを払拭するためにも、海外へ行くことは重要です。

また、「日本企業の影響力が大きい」です。アメリカでは、日本車が多く走っていただけでなく、日本企業がスポーツ場のスポンサーにもなっていました。日本では、海外企業がスポーツ場のスポンサーになることは珍しいため大変驚きました。以前から日本企業が世界で活躍していることは知っていましたが、海外に行くことでその影響力の大きさを実感しました。

学科名と略表記

E：知能エレクトロニクス学科※
T：情報通信工学科

A：建築学科
C：都市マネジメント学科

CD：クリエイティブデザイン学科
SD：安全安心生活デザイン学科

MC：経営コミュニケーション学科
(学年は派遣時)

※E：平成29年4月より、電気電子工学科に名称変更

【地域連携センター報告】

◆第2回ICT※利活用セミナーを開催

塩釜地区を中心とした中小企業向けに「ICT※で実現する売上拡大とコスト削減」として平成29年2月16日（木）、ホテルグランドパレス塩釜にてセミナーを開催しました。講師には、Webマーケティング会社代表の半澤満氏、中小企業診断士の細野哲平氏を迎え、「ホームページを活用した売上げアップとインターネットを利用した経理でコスト削減」というタイトルで講演いただきました。

また、本学より経営コミュニケーション学科佐藤飛鳥准教授が、地域活性化における大学の役割について講演を行いました。来場者からは、相談することもでき、ICT※について分かり易い講演だったと好評をいただいたセミナーになりました。



本学での地域活性化に関する取組みや事例紹介をする佐藤飛鳥准教授
※ICT:Information and Communication Technology (情報通信技術)

【トピックス】

◆本学主催 合同企業説明会を開催

キャリアサポート課

仙台市内の江陽グランドホテルにおいて、3月2日（木）・3日（金）の2日間にわたり学部3年生、修士1年生を対象とした本学独自の合同企業説明会を開催しました。

この説明会には、過去約5年間に本学学生の採用の実績を持つ企業・団体を中心に290社が参加しました。参加企業の採用意欲は年々増しており、それに応えるよう多くの学生が事前準備を整え説明会に臨みました。その姿勢は企業採用担当者の方から高い評価を得ております。

また、初日の午前中には合同企業説明会に先立ち進路指導集会を実施し、今野弘学長の挨拶ならびに外部講師による「今年の採用戦線の動向とこれからの就職活動」と題した講演が行われました。



熱心に採用担当者の話を聞く学生

◆第67回Tohtechサロンを開催

一番町ロビーにおいて第67回Tohtechサロンを、平成29年2月22日（水）に開催しました。講師に環境エネルギー学科牧雅康准教授を迎え、「空撮画像を用いた農地、林地管理」の題目で講演いただきました。今回は、ドローンを用いた農林業研究のテーマに合わせて、県内外の農業・林業関係者を中心に集客を行い、より専門的な講座となるようにしました。遠くは山口県の林業関係者や農学部の大学関係者の方にご参加いただき、積極的なトークセッションが行われました。研究者、活用者との相互関係による今後の当研究分野の開発発展に寄与するものとなりました。



技術交流を目的とした少人数のサロンを開催しました

◆「高校生フォトコンテスト2016」
入賞作品決定

やまだ まさき 山田 真幸 都市マネジメント学科 准教授

本学主催、都市マネジメント学科主管で「高校生フォトコンテスト」を2011年から毎年開催しております。本年度のテーマは、昨年度に引き続き「我がまちの土木施設」でした。

本学科が学問的基盤とする土木工学に関連する対象は幅広く、都市や交通のインフラはもちろん、これらの維持管理やまちづくり、観光を含みます。コンテストでは、このような私たちの生活を支える土木施設を高校生の視点で写真に収めていただきました。

入賞作品は都市マネジメント学科Webサイトで公開されていますので、ぜひご覧ください。



最優秀賞 「痕跡の上に咲く」 高野歩夢さん(宮城県白石高等学校)

平成28年度学位授与式

平成28年度学位授与式が、八木山キャンパス講堂(体育館)において3月17日(金)に挙行されました。ご父母、教職員、ご来賓列席のもと学部生563名、大学院博士(前期)課程18名、博士(後期)課程1名の代表に、今野弘学長より学位記が授与されました。

学部生代表の情報通信工学科 伊藤翔さんと修了生代表の工学研究科建築学専攻 子玉真也さんが、今後の決意と家族、友人、教職員への感謝を込め、答辞を述べました。卒業生・修了生の皆さまの今後のご活躍を祈念しております。



平成28年度 学位記授与者数

学部 合計563名

工学部 合計394名

- 知能エレクトロニクス学科 ……76名
- 情報通信工学科 ……104名
- 建築学科 ……111名
- 都市マネジメント学科 ……49名
- 環境エネルギー学科・環境情報工学科 ……54名

ライフデザイン学部 合計169名

- クリエイティブデザイン学科 ……45名
- 安全安心生活デザイン学科 ……54名
- 経営コミュニケーション学科 ……70名

大学院 合計19名

工学研究科 博士(前期)課程 合計16名

- 電子工学専攻 ……5名
- 通信工学専攻 ……1名
- 建築学専攻 ……6名
- 環境情報工学専攻 ……4名

ライフデザイン学研究科

博士(前期)課程 合計2名

- デザイン工学専攻 ……2名

工学研究科 博士(後期)課程 合計1名

- 建築学専攻 ……1名

topics

環境サークル「たんぽぽ」(ISO学生サポーター)メンバー募集中!

代表 **丹野 有矢** 電気電子工学科 3年

環境サークル「たんぽぽ」は、ペットボトルキャップや大学祭で使用する容器のリサイクルの促進、および消灯活動による省エネ推進など、主に学内を中心として活動しています。



この他、大学近隣地域の定期的な清掃活動や、他大学の環境団体・企業などと連携しての活動など、学外の環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。現在は、総勢42名で活動中です。八木山・長町両キャンパスでの活動を活性化させるためにも、学科学年を問わず随時メンバーを募集しています。興味のある方はぜひ下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

八木山キャンパス:1号館4階 総務企画課(ISO推進事務局)
 長町キャンパス:4号館1階 長町校舎事務室

「居場所作り」が大学生生活充実のカギ

ピア・サポーターは、学生同士の相互扶助を目的とした学生の集まりです。カウンセラーから心理学や傾聴術などを学びながら、大学生生活のカギとなる「居場所作り」のためにさまざまな活動を行っています。大学祭への参加や宿泊研修など全員で参加するイベントもあり、この活動自体も居場所のひとつになっています。大学生生活を充実させたいとお考えの方は一緒に活動してみませんか。詳細は八木山キャンパス(8号館3階)のカウンセリングルームまでお尋ねください。



本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
 〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1
 東北工業大学 入試広報課
 TEL:022-305-3144 FAX:022-228-1813
 E-mail:kohositu@tohtech.ac.jp

column

かみにし はじめ
上西 創 ウェルネスセンター カウンセラー

人間関係の難しさ：問題を関係性で捉える



皆さん、こんにちは。カウンセラーの上西と申します。今号からコラムを担当することになりましたので、よろしくお付き合いください。自己紹介も兼ねて、私の学んできた「家族療法」についてお話ししたいと思います。「家族療法」では、社会を小さな「システム」の集合体と考えます。例えば、家族もシステムのひとつであり、そのシステムを維持するために父親は仕事を頑張り、母親は子育てと家事に力を入れ、子供は成長することでそれぞれの役割を果たします(現代では共働きなど父親と母親の役割にも変化が生じてきていますね)。そんな中、父親が仕事を頑張り過ぎて連日帰りが遅くなるとどうなるでしょう。母親はもっと家族を大事にしてほしいと寂しさやイライラを感じるかもしれません。子供は母親の気持ちを敏感に感じ取り、母親を悲しませないように(あるいは怒らせないように)必要以上に頑張ったりいい子になろうとしたりします。そんな頑張りなが長く続くと次第に家以外で使えるエネルギーが減少し、不登校などの問題が生じます。これは典型的な例ですが、よくある例でもあるのです。厄介なのは、それぞれが家族を維持しようと頑張っていて、誰も関係を壊そうとは思っていないのに上手く行かなくなることもあるということです。このようにひとつの問題を個人の問題としてではなく、システムや関係性の問題として捉え、解消するためにできることを共に考えていくのが「家族療法」なのです。

前期の主な行事予定(平成29年度)

- | | |
|---|--|
| <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3日(月) 入学式 ● 4日(火)~7日(金) 前期オリエンテーション ● 10日(月)~7月28日(金) 前期授業 <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 24日(土) オープンキャンパス <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 8日(土)・15日(土) 前期補講日 ● 22日(土)・23日(日) オープンキャンパス ● 24日(月) 定期試験時間割発表 ● 31日(月)~8月2日(水) 前期定期試験期間 | <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3日(木)~9月15日(金) 夏季休業 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1日(金) 前期成績発表 ● 追再試験時間割発表 ● 4日(月)・5日(火) 前期補習 ● 6日(水)~11日(月) 前期追再試験 ● 19日(火) 後期オリエンテーション |
|---|--|